



ユーオブザーブ

uObserve

運用・監視編

仮想基盤・VDIの 管理、監視、 ボトルネック可視化



運用監視の
ご担当者さま。
こんなお悩み
ありませんか？

システム全体の稼働状況や
パフォーマンスに合わせた適切なサイジングがしたい！

顧客のシステム構築や移行時、
適切なサイジングに根拠を持たせたい！

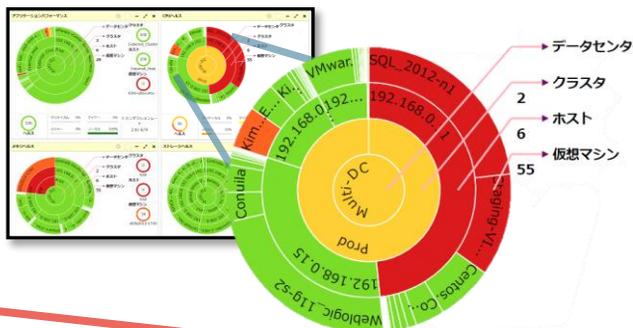
定例レポートの
工数を減らしたい...

▶ 裏面の詳細説明へ！

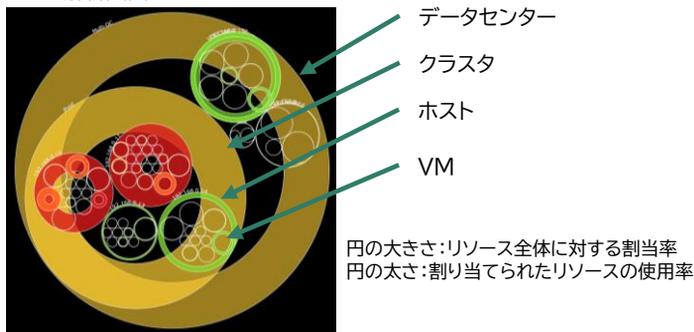
1. 稼働情報、性能情報の相関分析により 仮想基盤全体の可視化をワンストップで実現

メモリ・ストレージ・CPU・ネットワーク・アプリケーションの仮想基盤全体のパフォーマンスデータを自動で評価
メモリ・CPUについては、ヘルス表示画面からリソース全体に対する各VMのリソース割当率や使用率を一目で確認可能

uObserveのGUIダッシュボード



CPU解析画面



適切なサイジングにお役立ち!

パフォーマンスへの影響範囲が一目でわかる!

どの仮想マシンでCPUが不足しているのか、必要以上に割当られている仮想マシンはどれかが一目瞭然!

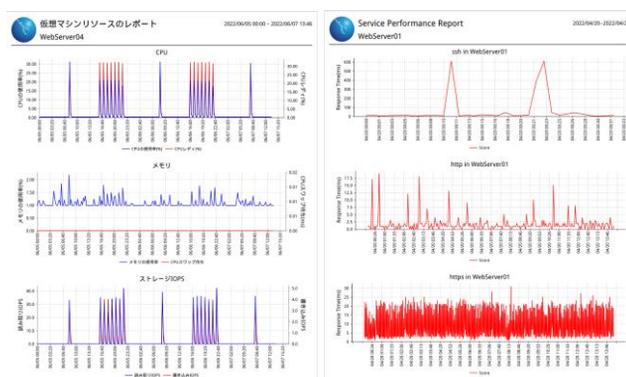
2. 任意の期間ごとに 自動でレポートを作成・通知を送付

各種レポートを欲しいときに手動で、または日次/週次/月次で自動作成可能(PDF形式およびCSV形式)



各VMのCPU・メモリの使用状況を表示
リソース割当量について追加/削減の提案も表示

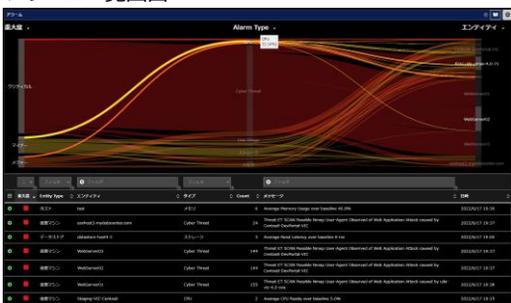
各VMのCPU・メモリ使用率、ストレージIOPS、アプリケーションレスポンスタイム等の時系列グラフを表示



3. アラームの設定、VMの停止/再起動等 アクションの自動実行が可能

アプリケーションレスポンスタイム、ネットワーク通信、CPU、メモリ、ストレージのヘルス状態等に問題が発生した場合にメール、Syslog、SNMPトラップを使用して通知を送信可能 (Zabbixトラッパーを使用したZabbixへのアラームイベント送信も可)

アラーム一覧画面



アラーム通知設定画面



AIOps (Automated IT Operations)設定画面
※有償オプション



簡単な操作で必要なアラーム情報だけをフィルタ
アラームの通知方法を設定

トリガイベントを選択→アクションを選択
【アクション例】
VMの停止、再起動、自作したPowerCLIを用いたPowerShellスクリプトも実行可能

トラブルをいち早く把握し対応!

無償トライアル



uObserveをインストールいただくと、2週間は申請不要で利用可能です。*
まずはお気軽にお試しください。 *ソフトウェアインストールには会員登録が必要です。

